

ユニットリーダー

佐久間恵美

担当入居者さん
嶋谷喜代子さん
森寿美子さん
加藤博久さん



コロナが終わったらこれがしたい、あれがしたいと皆さんと話しながら、気付けばもう今年も終わろうとしています。経験したことのないこの事態に、春にはとにかく全ての活動をストップ。その理由を理解できないお年寄りも当然おられるので、毎日のようにコロナについて説明をしていた日々を懐かしく思います。しかしいつまでも立ち止まっていてはいけないと思い動き始めました。外出ができず、季節を肌で感じられないお年寄りに、季節の移り変わりを感じていただきたく行事を沢山行いました。我慢していることを忘れるくらいの楽しい日々を送っていただきたく、毎日笑って過ごしました。矢絣千鳥のお年寄りは、すずの郷で一番お元気です。ご家族の皆さんもどうかお元気で、玄関先ではなく、ユニット内でお会いできる日を心待ちにしています。今年1年ありがとうございました。来年もよろしくお願ひ致します。

古市喜一



担当入居者さん
鵜飼正和さん
浅野良子さん



今年入社しました。
早くすずの郷に慣れ、お年寄りに一人前として認めさせていただけるよう頑張りました。(今も継続中)

小南友華



担当入居者さん
浅野良子さん
筒井恵美子さん



コロナでご家族になかなか会えないので、インスタグラムなどでお年寄りの様子を伝えられるよう広報活動を頑張りました。

三輪智恵美
矢絣千鳥担当看護師



人とのコミュニケーションの大切さを改めて考えさせられた一年でした。お年寄りとの何気ない会話から“気持ち”を汲み取れるよう心掛けました。

宮川恵子



担当入居者さん
山内正子さん
寺川よし子さん
樋田ふみ子さん



日中、夜間関係なく、食事や水分を摂っていたけるよう心掛け、更衣介助中には皮膚を観察し、保湿して細かいところまで目を向けられるようにしました。また、自身では体調を崩さないよう気を付けていました。

松本友美加



担当入居者さん
筒井恵美子さん
高橋康子さん



外出が出来なかったので、いつも以上にお年寄りと過ごす時間が増えました。皆さんの『今』の気持ちに寄り添い、コロナが落ち着いた時には、またお年寄りと一緒に色々と挑戦したいです。

矢絣千鳥ユニット
スタッフのご紹介

2020年。オリンピックイヤーとなる今年の幕開けは、日本中の人々が心躍らせ、夢と希望でいっぱいでした。しかしその夢と希望の年は、あっという間に目に見えないウイルスに翻弄される年となりました。外出自粛、面会の制限など、すずの郷の皆さんも、我慢我慢の1年を過ごされました。

面会の制限が続き、以前のようにご家族様とスタッフの交流はできなくなってしまったが、そんな中でも、新しい入居者さんが入居されました。ご家族様とスタッフの交流ができなくなり、新しい入居者さんご家族様には、スタッフのご紹介もできない状況ですので、今年最後のすずの郷新聞は、ユニットのスタッフ紹介をさせていただきます。

ユニットリーダーからは、今年一年を振り返り、スタッフ一人一人には、今年頑張ったことを聞きました。いつかまた、ご家族様と楽しく交流できる日が来ることをスタッフ一同楽しみにしております。

大橋聖也
サブリーダー



担当入居者さん
杉浦弘明さん
三輪浩さん



今年の春、西館から本館に異動となりました。新しい環境で楽しくやっています。介護福祉士試験に向けて勉強も頑張っています。

中里大輔
2Fフロアリーダー



担当入居者さん
小堺豊太郎さん
小堺ミチ子さん



12月の屋台イベント
『大ちゃんラーメン』ふんどし一丁で頑張りました。

澤田さおり



担当入居者さん
日比野良子さん



とにかく健康で、自分が常に笑顔でいることで、入居者さんにも笑顔になつていただくように心掛けていました。

原真由
調理スタッフ



今年はいつもと違う夏祭りで、屋台も試行錯誤で行いましたが、例年のように皆さんに喜んでいただけ嬉しかったです。

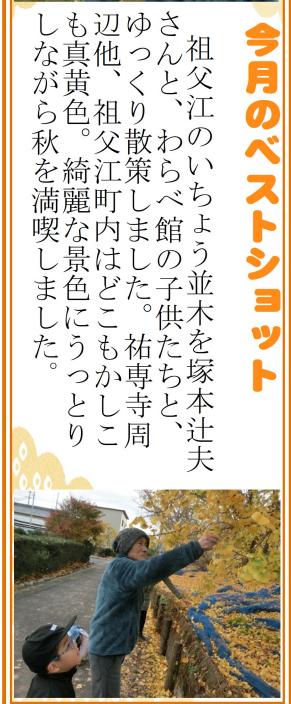
す
ず
の
郷
新聞 第111号



今年一年、皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。また面会に際しまして、ご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。メン、トッピングうどんを楽しんでいただいた記事です。1日中は暖かい陽気の中、心もお腹も秋を満喫していました。



今月のベストショット



オータム スイーツフェア 開催!!

秋は美味しい物がいっぱい。そんな秋の味覚を楽しんで頂きたいと、2階フロアは『オータムスイーツフェア』を開催しました。秋の代表スイーツといえば…栗きんとん！用意したのは1.5kgの生の栗。朝から茹でて、皆で剥き剥き。「こんなに手間が掛かるから、栗きんとんは高い」と木村さんは手早いね」と感心しながら一緒に栗を剥いていた山内正子さん。皆さん真剣に剥きすぎて、段々無言に…手にマメができる強者も！たくさん剥けたので、余った栗は、お昼ご飯に栗ご飯として頂きました。他には、七宝亀甲名物!!鬼まんじゅう。「昔よう作ったなあ～」と言ってつまみ食いする内田秀子さん(笑)スイーツ男子お手製のスイートポテトとワッフルも並び、部屋中良い香り。そんな香りにつられて、皆さん、始まる前からソワソワ。ビュッフェ形式でしたが、ほとんどのお年寄りが全種類のスイーツを選んで、お皿は山になっていました。「おいしい～」「どれだけでも入ってくよ」「おかわりもらえる？」と皆さん食欲の秋を満喫されていました。(小南友華)



屋台イベント お風呂と焼き芋 大ちゃんラーメンで 温まるね

だんだんと寒さが増す季節となり、お年寄りに秋をもっと身近に感じていただきたい！という想いから、以前好評だった屋台イベントを行いました。今回は少し規模を拡大してスーパー銭湯風に、お風呂だけでなく食事や売店なども同時に楽しんでいただきました。お風呂は露天風呂や花風呂、柚子風呂など、普段のお風呂とは少し違った雰囲気を味わっていただきました。お風呂上りには温かい甘酒などもご用意し、さらに温まっていただきました。外では大ちゃんラーメンやおでん、囲炉裏でぬくもりのある焼き芋をご用意しました。お昼ご飯を食べた後でしたが、ラーメンもおでんも焼き芋も、全部召し上がっているお年寄りがたくさんいらっしゃいました。「美味しい！」という声を直接目の前で、顔を見て聞くことができ、温かい気持ちになりました。

寒い中でしたが、晴天に恵まれ、温かいお風呂と食事と飲み物で、ポカポカな一日となりました。(野田沙也加)



秋の味覚祭り

サンマや
炊き込みご飯で
秋の味覚を満喫



食欲の秋!!秋といえばやはりサンマ!!すっかり高級魚となつたサンマですが、やっぱり食べたい!!ということで、1階フロアでは秋の味覚祭りを行いました。メニューは、サンマの塩焼き、きのこご飯、栗ご飯、柿なます、栗きんとん。なんと、50匹のサンマを中庭で炭火焼き。もちろん、頭も、骨も、腹わたもついています。サンマの焼ける香ばしい煙も楽しみながら「頭も食べるから、よく焼いてね」と森本治郎さん。「やっぱりサンマは腹わたがついてないと」と青山壽子さん。小骨の多い魚ですが、皆さんスタッフよりも綺麗に召し上がられ「もっと綺麗に食べなさいよ!!」とスタッフがダメだしされました(笑)栗も生栗を使いました。皆さん、栗ご飯も、きのこご飯も両方食べたい!!おかわり下さい!!とスタッフのご飯が足りなくなってしまうくらい好評でした。

外出が制限される今、食事が今までよりも大きな楽しみとなっています。また、食事を通して季節を感じ、楽しく過ごしていた 것입니다。(山本直美)



おうち 丸亀製麺 お好みのトッピングで お腹いっぱい



食欲の秋真っ只中!!西館では、入居者のリクエストにお応えして、丸亀製麺風のうどんランチ会を行いました。

目の前で茹でたてのうどんをお配りしながら、お年寄りの皆さんには、お好きなトッピングをバイキング形式でご自由に選んでいただきました。トッピングメニューは、温泉卵や牛肉のしぐれ煮、とろろ、かき揚げ、海老天、ちくわ天、いなり寿司、おにぎりなどなど…盛りだくさん!!お一人お一人、お好みの味にカスタマイズ。普段では食べることのできない、ご自分だけの味を楽しんでいただくことができました。中でも、宮崎タケ子さんは、お皿一杯に全種類盛って、とても楽しそうにされていました。また、天ぷらがお好きな上田キヌエさんは「こんなに沢山食べられないよ～」と言いながらも、沢山の種類の天ぷらを選ばれ、完食されました。

好きなものを好きなだけ選んで、楽しんで食事をしていただいくと私達も幸せな気持ちになりました。これからも、お年寄りの皆さんに美味しい!!楽しい!!と思っていただける食事の企画をしていきたいです。(武山奈央)

